

組織活動

秋川・平井川流域の地質資源やジオサイトに関心を持ち、ともに学ぼうとする仲間を増やします。

- 月に一度、本会の全体会を開催し、会員同士の率直な意見交換の場とします。
- 魅力あるガイドツアーや講演会を開催して、ジオに関心を持つ仲間を増やします。

学習活動

秋川・平井川流域の地質資源、自然環境と生物、歴史・文化遺産についての学習を深めます。

- 全体会の前半 1 時間を学習会の時間とします。
- 会員内の有志が行うグループでの学習会を支援します。
- 年に一度、他地域のジオサイトを訪れる地域外研修の機会を作ります。秋川・平井川流域とは違う地質要素やジオサイトを見、体験することを通して、より見聞を広げ、ジオへの理解を深めます。

調査・研究活動

秋川・平井川流域の地質やジオサイトについての調査・研究を行います。

○会員の中で、個別の調査・研究課題に取り組みたい有志がチームを作り、研究会活動をすすめます。現在までに設置が決まっている研究会は以下の通りです。これら以外でも、会員の発議により新たな研究会を設置することができます。

- ①付加体研究会
- ②化石研究会
- ③上総層群研究チーム

ガイドツアーの開催

秋川・平井川流域のジオの魅力を伝えるためにジオガイドツアーを開催します。

- ガイドツアーは、普及を目的にした市民向けガイドツアーと、会員同士の学びあいを目的にした会員向けガイドツアーとを行います。両者を分けて 2 回行うか、両者を統合して 1 回行うかはツアーチームごとに決めます。2 回行う場合は、参加者の平均化を図るため、会員はいずれにも参加できるようにします。1 回だけの場合は、中止になることによって一度も出来なくなる事態を避けるために、予備日を設けることにします。
- スタッフは危険個所での注意喚起や事前の対策を行い、安全な運営に努めます。
- スタッフは事前の下見やリハーサルを行い、ガイドコースへの理解を深めて、ガイド力の向上に努めます。

広報活動

さまざまなメディアを使って秋川・平井川流域のジオの魅力を発信します。

○秋川流域ジオの会のホームページを積極的に活用します。秋川流域ジオの会が行うガイドツアーや講演会などの情報を発信するとともに、たくさんの画像を掲載して秋川・平井川流域のジオの魅力を伝えます。

○秋川流域ジオの会のフェイスブックページを積極的に活用します。ホームページがカバーできない各研究会が行う巡検や調査の報告も含め、タイムリーに情報を発信します。

○「秋川流域ジオの会通信」を、年に4回(3月・6月・9月・12月)発行します。「通信」には、ガイドツアーや学習会などの情報の他に、秋川・平井川流域のジオサイトを紹介するページや会員のリレーエッセイなどのコーナーを設けて、多彩で魅力的な内容にします。

講演会の開催

秋川・平井川流域の地質資源、自然環境と生物、歴史・文化遺産のすばらしさを広く市民に伝えるための講演会を開催します。

出版物の作成

○秋川・平井川流域のジオの魅力を伝えるジオガイド本を、2024年12月を目途に出版します。そのために、編集委員会が中心となって執筆・編集をすすめ、魅力ある内容の本にします。

○ブックレット『秋川の石図鑑』を出版し、その普及に努めます。

教育機関や生涯学習機関への協力と連携

近隣の学校や児童館、教育サークルなどに対する出張授業や講師派遣、体験学習プログラムの提供などの協力、教育委員会などが主催する生涯学習機会に対する講師派遣、体験学習プログラムの提供などの協力など、教育機関や教育委員会などから当会に求められる要請に、積極的に応えます。また、そうした要請に応えるために、講師団の育成・組織化などの体制づくりをすすめます。

日本ジオパークネットワークや地学研究団体等への協力と連携

日本ジオパークネットワークや他地域のジオパーク、大学や地学研究団体と連携して活動をすすめます。当会が他県や他地域を巡検する際にはこれらの団体・機関から情報を得、これらの団体・機関が秋川・平井川流域を訪れる際には、地元団体として応援します。

秋川流域ジオ情報室への協力と連携

秋川・平井川流域のジオの魅力を伝え、「ジオへの玄関」となっている秋川流域ジオ情報室の運営に協力します。展示室の展示内容の充実や人材派遣などの面で当会に求められる要請に、積極的に応えます。